

初めて糖尿病を指摘された患者さんに関して 2024年7月2日

この度、初めてコラムを書かせていただくことになりました、

うちのドクター院長の黒澤秀章(くろさわひであき)と申します。

主に糖尿病のコラムを担当致しますので、よろしくお願いします。

今回は、初めて糖尿病を指摘された患者さんに関して、書かせていただきます。



健康診断の結果であったり、人間ドックの結果であったり、インターネットで自分の症状を調べたら、糖尿病というワードが出てきたりなど、クリニックや、病院を受診するきっかけは人によって様々かと思われます。

糖尿病患者さんの典型的な症状は、口渇(こうかつ)・多飲(たいん)・多尿(たによ)・体重減少であります。

喉が乾いて、たくさん水を飲んで、夜に何回もトイレに起きる、さらに、食べても食べても痩せてしまう、などであります。

糖尿病の発症を疑う症状としては、甘い食べ物などをたくさん食べすぎてしまい、体重が急激に増えてしまった(減ってしまった)、などがよくあるケースですが、それ以外にも、多くの原因が挙げられます。

- 胃癌や膵臓癌など癌を契機に糖尿病を発症するケース
- ステロイド内服中に糖尿病を発症するケース
- 妊娠中に妊娠糖尿病を発症するケース
- 急性膵炎になったあとに糖尿病を発症するケース

糖尿病患者さんの症状で難しいところは、ズバリ体重減少です。

一見、食べても食べても体重が減っているから、良かった～、と楽観的に考えてしまうケースもあるかもしれませんが、もしかしたら糖尿病悪化(血糖値上昇)の症状かもしれませんので、是非是非ご注意ください。

当院は、どの時間帯でも糖尿病専門医が診察対応致しますので、

上記の内容でご心配なことがありましたら、いつでもお気軽に医師にご相談ください。

うちのドクター院長 黒澤秀章